

平成29年度暫定版
川西市地域包括型認知症ケアネット

平成29年度

暫定版

川西市地域包括型認知症ケアネット



どの項目にも共通する土台となる考え方：「前向きな気持ちで積極的行動・感謝と思いやり」

※ どの項目もアルツハイマー型認知症を中心に記載しています。病気により症状や症状の現れ方には個人差があります
(1) 個人(本人)：元気づちからの備えが認知症を支える・・・

		元気づけ時	軽度⇒		中等度⇒		重度⇒
			認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の症状はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	
認知症の状態 具体的な行動		認知症の知識を持つ	もの忘れがあるが、金銭管理や書類作成を含め、日常生活は自立している	金銭管理や書類作成などにミスがあるが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが難しい	食事、トイレ、着替えなど、一人では難しい	ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい
		家族皆が元気でいる					
		優しい家族をつくる					
		不便を楽しむ					
		近所とのつながりを作る					
		橙(だいたい) 110番作戦					
		認知症の知識を学ぶ					
		かかりつけ医をもち、健康管理(運動・食事等)、認知症予防に取り組む					
		お互いに尊重し、良き理解者、応援者になる					
		最新のものに興味を持つことや少しの不便は脳を活性化させることと思ひ、生活を楽しむ					
		挨拶をきっかけに顔なじみになり、地域の行事等へ誘ひ合い、近隣とのつながりを作ることができる					
		・「橙(だいたい) 110番」に協力し、目印を掲げる					
		・自分から「助けて!」と言える					

いつでもだれでも行ける場所がある	・「街かど〇〇〇」へ家族などとともに気軽に行ける						
親しい友人をつくる	・自分から積極的に世代を超えて交流できる場に参加する						
相談ができる 困っている人を早く見つけることができる 人の役に立つことができる 自分の好きなことができる わかりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方	・自分らしく生活が続けられるために、思いを記録し家族などに伝えておく						
	・勇気をもって相談する						
	・日頃から近所の人が変わりないか、雨戸や郵便物、点灯等を気に掛ける						
	・自分のことをするついでに出来る時にできることを手伝う						
	・今だから出来る事にチャレンジする						
	・日頃から、自分にかかわる制度やサービス等について、備えとして情報を集めておく						

※1 「橙（だいだい）110番」とは：困ったときに緊急に助けてもらえるところ
 ※2 「街かど〇〇〇」とは：気軽に行って楽しくしゃべれるところ。

(2) 家族 家族が認知症になった時、困らない備えのために・・・

		元気な時	軽度⇒		中等度⇒		重度⇒
			認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の症状はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	
具体的な行動 認知症の状態			ものは忘れがあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立している	金銭管理や買い物、書類作成などがみられるが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者などが一人では難しい	食事、トイレ、着替えや入浴などが一人では難しい	ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい
		認知症の知識を持つ	・家族で認知症について学ぶ				
		家族皆が元気でいる	・家族は互いにねぎらいの気持ちを大切にし、元気に暮らせるように健康に気を付ける				
		優しい家族をつくる	・本人ができることを大切にし、見守り、尊重する				
		不便を楽しむ					
ご近所とのつながりを作る 「橙（だいたい）110番作戦		ご近所とのつながりを作る	・挨拶をきっかけに顔なじみになり、地域の行事等へ誘い合い、近隣とのつながりを作る				
		橙（だいたい）110番作戦	・「橙（だいたい）110番」に協力し、目印を掲げる				
			・困ったときに「助けて！」と言える				

いつでもだれでも行ける場所がある	・「街かど〇〇〇」に参加できるように送り出すことができる								
親しい友人をつくる	・サロンなど近所の人と交流できる場所へ送り出すことができる ・必要になったら一緒に参加する								
困っている人を早く見つけることができる	・本人だけではなく、家族も気になる人に声をかける								
人の役に立つことができる	・本人が地域の活動など、近隣の人を手伝っていることを後押しする								
自分の好きなことができる	・今だからできることを楽しめるように後押しする								
わかりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方	・介護にかかわる制度やサービス（介護保険制度や成年後見制度ほか）について情報を得る								

(3) 地域住民 自分の地域の人が認知症になったら住民として何ができるか・・・

※ 地域住民とは：住民、～サークルの人、ボランティア、自治会員、福祉委員、民生委員など

		元気な時		軽度⇒		中等度⇒		重度⇒	
		認知症の状態		認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の症状はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
具体的な行動 認知症の知識を持つ 家族皆が元気でいる 優しい家族を作る ご近所とのつながりを作る	・認知症の知識を学び、認知症の人とその家族の応援者を増やし、地域住民としてできることを話し合っておく			ものの忘れがあるが、金銭管理や書類作成を含め、日常生活は自立している	金銭管理や書類作成などが、ミスにみられ、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などでは難しい	食事、着替え、入浴など一人では難しい	ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい	
	・自分の家族も地域住民も元気でいるために、健康づくりができる取り組みに誘い合う								
	・認知症を理解し、今まで通りの付き合いを続けることができる								
	・挨拶をきっかけに顔なじみになり、地域の行事等へ誘い合い、近隣とのつながりができる								

(4) 地域資源 認知症の人やその家族を支えるために何ができるか……

※ 地域資源とは：商店、スーパー、コンビニ、新聞配達、宅急便、タクシー、交通機関、郵便局、銀行、警察署、その他たくさん

		元気な時			軽度⇒			中等度⇒			重度⇒		
		認知症の状態			具体的な行動								
認知症の知識を持つ 人の役に立つことができる 相談ができる 困っている人を早く見つけることができる	・認知症について学ぶ（仕事と介護の両立など）												
	・民生委員、地域包括支援センター、市役所などの相談先を知っておく												

ご近所とのつながりをつくる	・地域のさまざまな活動と協同する								
分かりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方	・広報物を置くことに協力する（店舗など）								
家族皆が元気でいる	・健康づくりのための情報を提供する								
	・健康づくりのための機会を提供する								
いつでもどこでも行ける場所がある	・スペースの提供をする								
自分の好きなことができる	・本人の力が発揮できるように協力する								
橙（だいたい）110番作戦	・「橙（だいたい）110番」に協力し、目印を掲げる								
	・認知症まもり登録や認知症行方不明者SOSネットワークなど、高齢者の見守りに協力する								

(5) 行政 認知症の人とその家族を支援するために・・・

		元気な時		軽度⇒		中等度⇒		重度⇒	
		認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	認知症の疑いがあるが日常生活は自立	
具体的な行動	認知症の状態		もの忘れは、金銭管理や書類の作成を含め、日常生活は自立している	金銭管理や書類の作成などが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などは難しい	食事、トイレ、着替えなど、一人では難しい	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
認知症の知識を持つ		・ 認知症施策を推進する							
わかりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方		・ 相談先の地域包括支援センターをわかりやすく広報する（市役所の待合時間等にモニター等で情報提供するなど） ・ わかりやすい介護情報誌を作る（地域包括支援センターが出前講座に出向いたり、情報紙を発行するなど） ・ 認知症サポーターの役割や、オレんじリングの意味を広報する（市役所の待合時間等にモニター等で情報提供するなど） ・ 認知症対応や介護技術等のワンポイント講座をモニター等の機材を使って紹介する（市役所、公民館等にて）							
橙（だいたい）110番作戦		・ 「橙（だいたい）110番」の支援をする							

川西市認知症ケアネット

サービスの内容 (支援内容の分類)	元気な時	軽度⇒	中等度⇒	重度⇒
いつでもどこでも 行ける場所がある	予 防	認知症の疑いはあるが、日常生活は自立している 認知症の疑いはあるが、日常生活は自立している 認知症の疑いはあるが、日常生活は自立している 認知症の疑いはあるが、日常生活は自立している 認知症の疑いはあるが、日常生活は自立している	誰かの見守りがある 日常生活は自立している 日常生活は自立している 日常生活は自立している 日常生活は自立している	常に介護が必要 日常生活に手助け・介護が必要 日常生活に手助け・介護が必要 日常生活に手助け・介護が必要 日常生活に手助け・介護が必要
		ふれあいサロン コミュニティカフェ 居場所		
		老人クラブ		
		健康大学		
		認知症予防事業		
相 談	認知症にかかわる相談	いきいき元気倶楽部	きんたんくん健幸体操＜転倒予防・いきいき百歳体操編＞	
		認知症カフェ		
		地区福祉委員会相談窓口		
		心配ごと相談・介護サービス相談		
		認知症老人電話医療相談（川西市医師会）		
		老人をかかえる家族の会川西		
		川西市若年性認知症の会「りんどう（RING・D0）の会」		
		川西市成年後見支援センター”かけはし”（川西市社会福祉協議会）		

相談	認知症にかかわる相談	民生委員	地域包括支援センター	認知症地域支援推進員
		居宅介護支援事業所		
		地域密着型サービス提供事業所		
		認知症チェック表の活用		
医療	早期対応	認知症初期集中支援チーム		
	診断 治療	かかりつけ医	一般病院	
		認知症サポート医 認知症専門医		
		応急診療所		
		かかりつけ歯科医		
		ふれあい歯科診療所		
	在宅医療	かかりつけ薬局		
		訪問診療	訪問歯科診療	訪問看護
		消防署		
	緊急時対応			
	連携ツール	つながりノートⅠ（基本情報）Ⅱ（情報共有連絡票日々の記録等）Ⅲ（認知症ケアネット）		

元気な時	軽度⇒	中等度⇒	重度⇒
サービスの分類 (支援内容の分類)	認知症の疑いはあるが日常生活は自立している	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
	認知症の疑いがあるが、金銭管理や買い物が忘れられている	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
見守り 安否確認 外出支援 家事支援	地域のみなさん活動	誰かの見守りがあれば日常生活は自立できる	食事、トイレ、着替えや入浴などが一人では難しい
	民生委員による一人暮らし高齢者のみまもり	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
生活支援	川西市見守り協力事業者ネットワーク事業	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
	緊急通報装置の貸与	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
金銭管理	救急医療情報キット配布、友愛訪問	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
	緊急通報装置の貸与	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
金銭管理	救急医療情報キット配布、友愛訪問	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要
	緊急通報装置の貸与	認知症の症状はあるが日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要

介護	介護予防・日常生活支援総合事業 訪問介護（ホームヘルプ） 訪問入浴介護 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 訪問リハビリテーション 訪問看護 居宅療養管理指導 福祉用具貸与 特定福祉用具の購入費の支給 短期入所サービス（ショートステイ） ＜地域密着型サービス＞ ※川西市民のみが利用可能 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型通所介護（デイサービス） 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
住まい	住宅改造費助成 住まいの整備 住宅改修 サービス付き高齢者住宅 有料老人ホーム 軽費老人ホーム（ケアハウス） 介護老人保健施設 介護老人福祉施設 ＜地域密着型サービス＞ ※川西市民のみが利用可能 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

平成30年2月作成
平成30年3月一部修正
平成30年4月一部修正

川西市介護保険課



社会福祉法人 浴風会認知症介護研究・研修東京センター
執筆担当 佐藤信人

平成29年度運営費研究事業

住民視点から策定する地域包括型認知症ケアパスの在り方に
関する研究事業報告書（中間報告）

発行年 平成30年3月

発行者 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
東京都杉並区高井戸西1-12-1
電話：03-3334-2173（代表）